

つくば大学菅平高原実験センター講座 2018.11.10

# 身近な類似シダの識別



イヌワラビ

長野県植物研究会  
大塚孝一

# 主な科のシダ

「信州のシダ」より

## 主な科のシダ

小葉類



ヒカゲノカズラ科（ヒカゲ  
ノカズラ）



イワヒバ科（イワヒバ）



ミズニラ科（ミズニラ）

大葉類



トクサ科（トクサ）



ハナヤスリ科（ナツノハナ  
ワラビ）



ゼンマイ科（ヤマドリゼン  
マイ）



キジノオシダ科（ヤマソテ  
ツ）



ウラジロ科（ウラジロ）



フサシダ科（カニクサ）



コケシノブ科（コケシノブ）



コバノイシカグマ科（コバ  
ノイシカグマ）



シノブ科（シノブ）

シダは、科ごとによくまとまった特徴を持っています。ここでは長野県で見られる26科のうち主な24科の代表的な種を一覧で紹介します。



ホウライシダ科（クジャク  
シダ）



シシラン科（ナカミシシラ  
ン）



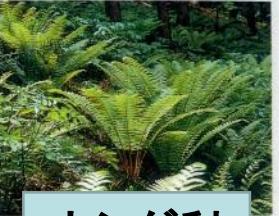
イノモトソウ科



チャセンシダ科



シガシラ科（シシガシラ）



オシダ科



ヒメシダ科



イワデンダ科  
(メシダ科)



ウラボシ科



デンジソウ科（デンジソウ）



サンショウモ科（サンショ  
ウモ）



アカウキクサ科（オオアカ  
ウキクサ）

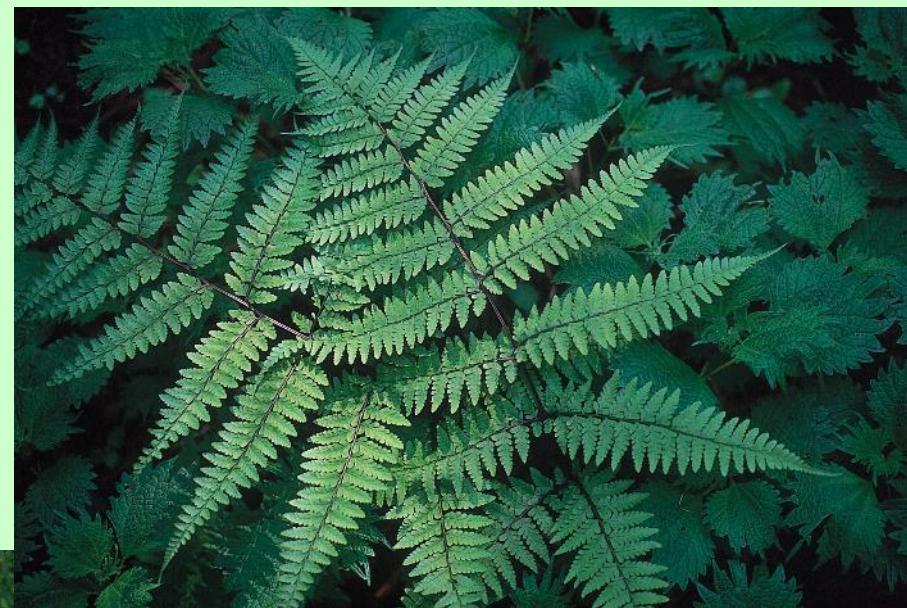
# 科の区別

- ・ **イワデンダ科(メシダ科)**: イワデンダ属、メシダ属、シケシダ属等
- ・ **オシダ科**: オシダ属、カナワラビ属、イノデ属、ヤブソテツ属等
- ・ **ヒメシダ科**: ヒメシダ属、ヒメワラビ属、ミヤマワラビ属
- ・ **ウラボシ科**: ノキシノブ属、エゾデンダ属、サジラン属
- ・ **チャセンシダ科**: チャセンシダ属、ホウビシダ属
- ・ **イノモトソウ科**: イノモトソウ属、イワガネゼンマイ属

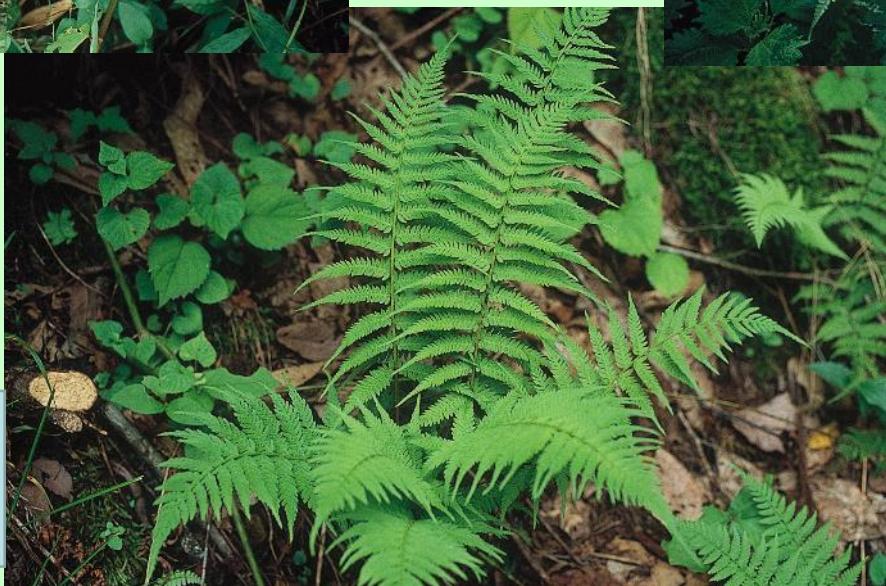
# イワデンダ(メシダ)科: イヌワラビ・ヤマイヌワラビ・ ヘビノネゴザ



イヌワラビ  
小羽片は羽軸に  
沿着氣味



ヤマイヌワラビ  
小羽片は羽軸から  
独立氣味



ヘビノネゴザ  
鱗片は黒褐色で  
周辺部は淡褐色

# イワデンダ(メシダ)科: サトメシダ・タカ ネサトメシダ・ミヤマメシダ



サトメシダ  
葉柄基部の鱗  
片は淡い



タカネサトメシダ  
葉柄基部の鱗片は黒い



サトメシダの仲間  
は、胞膜の辺縁  
が毛状に著しく切  
れる



ミヤマメシダ  
葉柄上部まで黒く  
ねじれた鱗片をつ  
ける

# イワデンダ科：シケシダ類(シケシダ・ホソバシケシダ)、ハクモウイノデ等

- シケシダとホソバシケシダ
- ハクモウイノデ・ミヤマシケシダ・ウスゲミヤマシケシダ

シケシダ

(葉の2形性がない)



ホソバシケシダ

(葉の2形性がある)



ミヤマシケシダ

葉柄・中軸は細い



ハクモウイノデ



ウスゲミヤマシケシダ

# オシダ科: オシダ・イノデ

オシダ



小羽片の側脈は二又する

ミヤマクマワラビ



小羽片の側脈は単条

イノデ



小羽片は独立する



# オシダ科・イノデ属

- ツヤナシイノデ(鱗片が幅広い)
- イワシロイノデ(鱗片が細長い)
- ホソイノデ(葉に光沢がある・下部羽片が短くなる・ソーラスが中寄に付く)
- サカゲイノデ(鱗片が圧着する)



サカゲイノデ



イワシロイノデ



ツヤナシイノデ

# オシダ科：ヤブソテツ属

- ・ ヤブソテツ
- ・ ヤマヤブソテツ(羽片の基部は耳状突起発達))
- ・ テリハヤブソテツ(光沢がある)
- ・ ミヤコヤブソテツ(包膜の中心が黒い、羽片が鎌形に曲がらず直線的に出る)



# ヒメシダ科

- ・ ヒメシダ(湿地や田んぼの畔に多い・葉の二形性が強い)
- ・ ニッコウシダ(陽地・下部羽片が縮小)
- ・ メニッコウシダ(林床・下部羽片は縮小しない)
- ・ ハリガネワラビ(胞膜は有毛・林床)
- ・ イワハリガネワラビ(胞膜は無毛・沢の岩上)
- ・ オオバショリマ(葉柄や中軸にリン片が密生する)
- ・ ミゾシダ(胞膜がなくソーラスは細長い。  
一見シケシダに似る)



# チャセンシダ科

- ・ トラノオシダ
- ・ イワトラノオ
- ・ クモノスシダ
- ・ コバノヒノキシダ
- ・ チャセンシダ



トラノオシダ



クモノシシダ



イワトラノオ



コバノヒノキシダ



チャセンシダ

# ウラボシ科

- ・ノキシノブ
- ・ミヤマノキシノブ
- ・ビロードシダ
- ・ミツデウラボシ



ミツデウラボシ



ノキシノブ  
葉は厚く幅狭い。根  
茎は鱗片に覆われる



ビロードシダ



ミヤマノキシノブ  
葉は薄く幅広い。根  
茎の先端以外は鱗  
片がない

# イノモトソウ科

- ・イノモトソウ・クジャクシダ・ハコネシダ
- ・イワガネゼンマイ・イワガネソウ

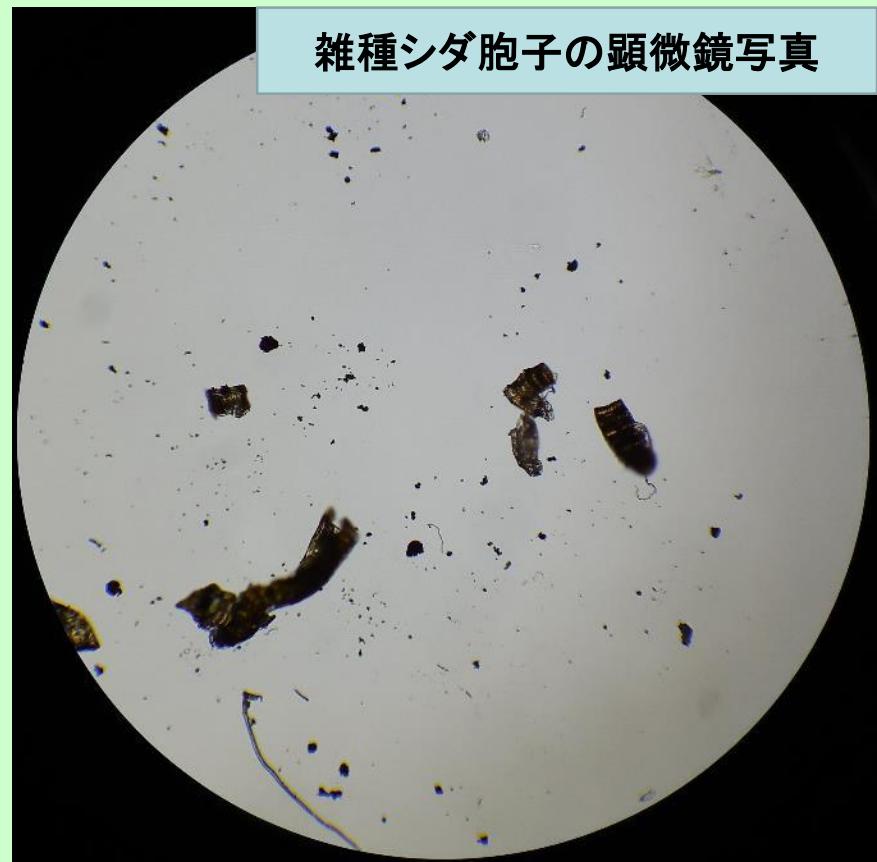


# シダ雑種を認識するには

- 基本種を正確に認識する(全体の形、ソーラスの形・位置、鱗片の形・色他)
- 両親の中間形を示していないか
- 孢子は不定形・不熟か  
(形・大きさ等が均一か不齊一か)



ソーラスの位置の例: 海老原2016より



# 雑種の学名

- 植物命名規約による学名

クモイワトラノオ(クモノスシダ×イワトラノオ)

*Asplenium × akaiense* K. Otsuka タイプ標本の指定が必要

× *Aspleniosorus akaiensis* (K.Otsuka) Nakaike(属間  
雑種として)

クモノスシダ *Asplenium ruprechtii* Sa.Kurata

*Camptosorus sibiricus* Rupr.

- 雜種式によるもの

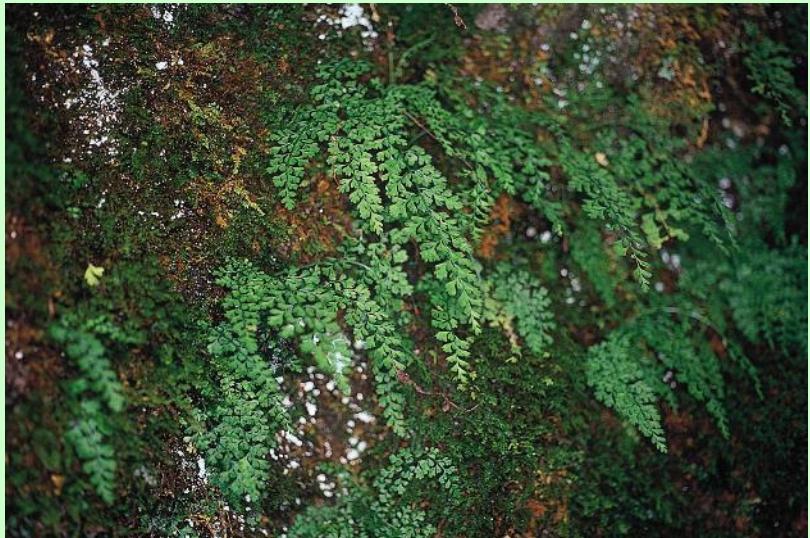
*Asplenium ruprechtii* × *A. tenuicaule*

# クモイワトラノオ

(クモノスシダ × イワトラノオ)



クモノスシダ



イワトラノオ



クモイワトラノオ

# ハゴロモコタニワタリ (コタニワタリ×トラノオシダ)

Asplenium incisum × A. scolopendrium

(A. × ikekawae Nakaike, nom. nud.

× Asplenophylitis ikekawae Nakaike, nom. nud.)

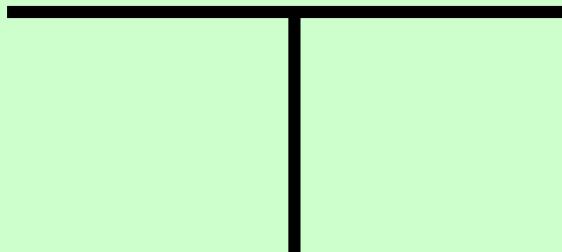


# フジオシダ(オシダ科)

オシダ×オクマワラビ



オクマワラビ



オシダ



フジオシダ

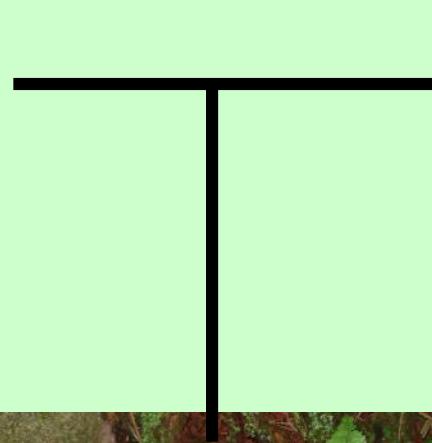


# アズミノナライシダ

(ホソバナライシダ × シノブカグマ)



葉は薄い  
羽軸・小羽軸表面に毛がある・鱗片淡褐色



シノブカグマ



羽軸・小羽軸表面に毛はない・鱗片褐色



# ホソバナライシダ・ナンゴクナライシダ



羽軸・小羽軸表面に毛は少ない  
・葉柄中軸は草色で鱗片多い



ホソバナライシダ



ナンゴクナライシダ



羽軸・小羽軸表面に毛が多い  
・葉柄中軸は赤紫色で鱗片少ない

# オオサトメシダ

(ヤマイヌワラビ × サトメシダ)



ヤマイヌワラビ  
葉柄や中軸、羽軸  
は赤紫色、胞膜の  
辺縁はほぼ全縁か  
やや鋸歯がでる



サトメシダ  
葉柄や中軸、羽軸  
は草色、辺縁は著  
しく裂ける



オオサトメシダ  
葉柄や中軸、羽軸は  
やや赤紫色、胞膜の  
辺縁は著しく裂ける

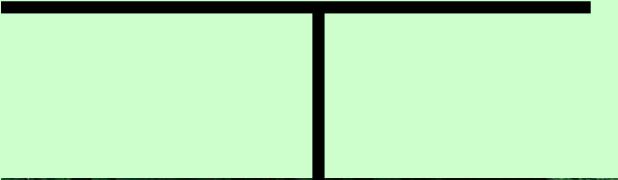


# タニヘゴモドキ

(タニヘゴ×ミヤマベニシダ)



タニヘゴ  
下部羽片は縮小する



タニヘゴモドキ  
羽片の切れ込みが  
深い、下部羽片は  
縮小する



ミヤマベニシダ

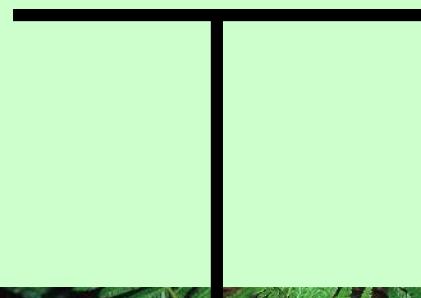
# チチブイノデ

(ホソイノデ × イワシロイノデ)



ホソイノデ

ソーラスは中間寄りで、下部羽片は縮小する



イワシロイノデ



チチブイノデ

全体の印象はイワシロイノデ風だが、ソーラスは中間寄りで、下部羽片は縮小する

# 外来種アメリカシラネワラビと在来種 オクマワラビの交雑個体



カツモウシラネワラビ

Dryopteris intermedia × Dryopteris uniformis



NAC標本

# 3種類の葉形

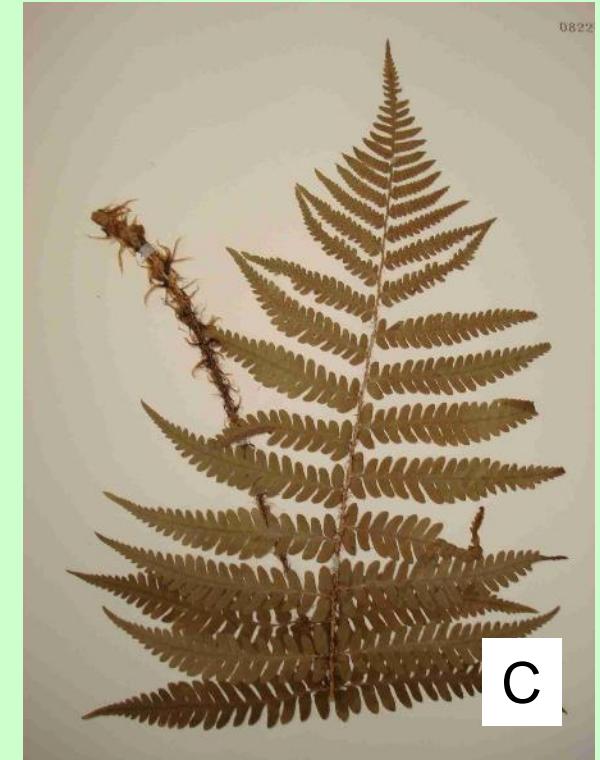
アメリカシラネワラビ (A)  
*D. intermedia*



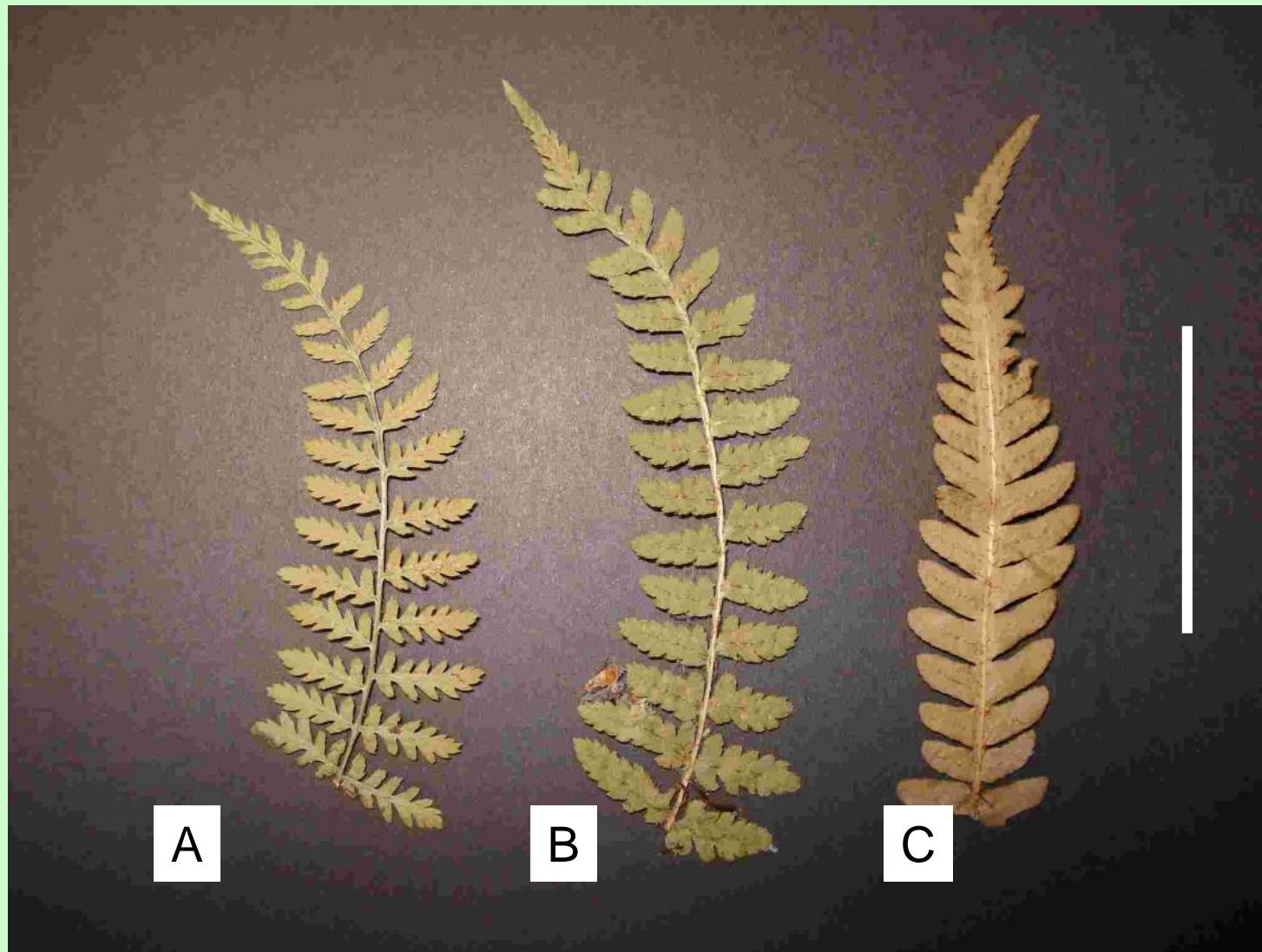
カツモウシラネワラビ (B)  
*D. Intermedia × D. uniformis*



オクマワラビ (C)  
*D. uniformis*



## 3種の羽片の比較



# シダ研究グループ

- ・ 日本シダの会
- ・ 信州シダの会(休止状態)
- ・ 長野県植物研究会
- ・ 茅野市八ヶ岳総合博物館市民研究員グループ(シダ部会)

## シダ研究のための図鑑類等

- ・ 日本産シダ植物標準図鑑 I・II(学研)
- ・ 日本の野生植物 シダ(平凡社)
- ・ 日本草本植物総検索誌Ⅲシダ編(井上書店)
- ・ 写真でわかるシダ図鑑(トンボ出版)
- ・ シダ学入門、